

施策番号	1602		
施策名	活力ある長寿社会の実現		
概要	高齢者の知恵や経験、技能を、就労や社会参画に生かす取組を推進するとともに、日常生活における自主的な介護予防の取組を広めることにより、高齢者が主体的に取り組む健康づくりを支援する。		
担当局・部室	保健福祉局・健康長寿のまち・京都推進室	共管局・部室	
上位政策	16 高齢者福祉		
施策に関する 主な分野別計画等	京都市民長寿すこやかプラン		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		27年度	28年度	29年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標の ウエイト
1	シルバー人材センター会員数(人)	c	b	5,158	5,064	5,416	93.5%	c	1.00
2	老人福祉センター利用者数(人)	a	b	605,082	604,509	605,894	99.8%	b	1.00
3	介護予防事業参加者数(人)	a	c	2,014	1,598	2,737	58.4%	d	1.00
4	高齢者の居場所設置数(箇所)	a	b	257	260	290	89.7%	b	1.00
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	b	客観指標総合評価				c	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		27年度	28年度	29年度回答					
				そう思う	どちらかと言 うとそう思う	どちらとも 言えない	どちらかと言 うとそう 思わない	そう思わ ない	有効回答 者数
1	高齢者の知恵や経験、技能が社会に生かされている。	c	c	21	124	234	82	33	494
				4.3%	25.1%	47.4%	16.6%	6.7%	
2	-	-	-						
3	-	-	-						
4	-	-	-						
5	-	-	-						
		C	C	市民生活実感調査総合評価					C

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

C	施策の目的がそこそこ達成されている						
	重み付け	☒ 客観指標	c	☐ 市民の実感	c		
（重み付けの理由） この施策は、対象となる市民が高齢者に限定されているため、効果が市民の生活実感に反映されにくいことから、客観指標総合評価を重視する。						28年度	B
（原因分析）客観指標総合評価 ☐ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 ☒ c評価以下であり、次の原因が考えられる。 ・介護予防事業参加者数の減少については、当事業に対する市民の認識が低いことが1つの要因であると考えられる。今後、制度変更に伴う見直しによって、介護予防の取組の充実に努めていく。							
（原因分析）市民生活実感調査総合評価 ☐ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 ☒ c評価以下であり、次の原因が考えられる。 ・高齢者の知恵や経験、技能を、就労や社会参画に生かす取組を推進するとともに、日常生活における自主的な介護予防の取組を広めることにより、高齢者が主体的に取り組む健康づくりを支援する取組が一定進んでいるものの、高齢者の知恵や経験、技能が社会にいかされていると実感しきれていない現状がうかがえるため、5割近くの方が「どちらとも言えない」と回答し、c評価となっている。						27年度	B

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		29年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		28年度 決算額	29年度 予算額		
1	老人医療費支給事業	1,200,714	1,192,143	良い	保健福祉局
2	市バス・地下鉄敬老乗車証交付事業	5,235,438	5,283,963	良い	保健福祉局
3	高齢者在宅介護生活支援事業	5,284	4,618	悪い	保健福祉局
4	健康すこやか学級	101,322	115,102	良い	保健福祉局
5	老人スポーツ普及事業	1,281	1,398	良い	保健福祉局
6	老人園芸ひろば	5,506	4,100		保健福祉局
7	老人クラブ補助等事業	83,496	86,362	良い	保健福祉局
8	老人クラブハウス助成	5,866	6,564	良い	保健福祉局
9	シルバー人材センター運営事業	79,134	79,787	良い	保健福祉局
10	敬老記念品贈呈事業	12,032	12,558	良い	保健福祉局
11	全国健康福祉祭参加者派遣	14,564	16,596	普通	保健福祉局
12	「市民すこやかフェア」開催助成	6,437	6,091	良い	保健福祉局
13	地域介護予防推進事業	535,739	553,886	かなり良い	保健福祉局
14	二次予防事業対象者把握事業	131,078	0	良い	保健福祉局
15	知恵シルバーセンター運営事業	6,344	6,484	かなり良い	保健福祉局
16	介護予防安心住まい推進事業	3,043	3,335	かなり良い	保健福祉局
17	健康長寿サロン設置等支援事業	6,960	9,588	普通	保健福祉局
18	すこやか生活支援介護予防事業	34,054	0	悪い	保健福祉局
19	地域支え合いボランティア活動助成事業	0	6,092		保健福祉局

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

- ・シルバー人材センターについては、入会説明会を適宜開催することにより、事業内容や会員の役割等を高齢者へ周知し、入会していただくよう取り組むことで、会員数の増加に努める。
- ・老人福祉センターについては、既存の事業に加え、多世代交流事業等を通じて、更なる利用者数の増加と交流機会の拡大を図る。
- ・介護予防事業については、平成29年度から制度が変更になり、これまでの二次予防事業が廃止されたことから、今後、より適切な指標への見直し等を行うとともに、介護予防の取組の充実に努めていく。
- ・高齢者の居場所づくりについては、29年度からは「健康長寿サロン」と名称を変更し、一層の事業の周知等により、京都市民長寿すこやかプランに定められた目標値を達成できるよう取り組む。
- ・高齢者の知恵や経験、技能を社会に活かすため、より幅広い分野での活用機会の拡大を図る。

施策名	1602	活力ある長寿社会の実現				
-----	------	-------------	--	--	--	--

指標名	シルバー人材センター会員数（人）					
-----	------------------	--	--	--	--	--

担当課	健康長寿企画課	連絡先	2 2 2 - 3 4 1 9		
-----	---------	-----	-----------------	--	--

1 指標の説明

シルバー人材センターに登録している会員の総数

2 指標の意味

高齢者の就業等を通じた社会参加や生きがいづくりの推進状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：シルバー人材センターに登録している高齢者数
出典：シルバー人材センター事業統計年報

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	27年度	28年度		数値	根拠	達成度
数値	5,158	5,064	94人減	5,416	前年度会員数の5%増	93.5%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値					

5 評価基準

単年度目標に対する達成度が、
a：100%以上
b：95%以上100%未満
c：90%以上95%未満
d：85%以上90%未満
e：85%未満～

6 基準説明

前年度会員数の5%増を目標値として設定し、目標値の100%以上をa、以下5%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

27	28	29
c	b	c

1 指標の説明

老人福祉センター（市内17箇所）を利用した方の延べ人数

2 指標の意味

各種相談、健康増進事業、教養講座など、高齢者のニーズに応じたサービスの利用状況を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：各施設から毎月提出される報告書から集計
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	27年度	28年度		数値	根拠	達成度
数値	605,082	604,509	573人減	605,894	過去5年間の最高値（平成26年度）	99.8%

	全国順位	中長期目標			備考
		数値	目標年次	達成度	
数値					

5 評価基準

最新の数値を過去5年間の数値と比較して、
a：最高値以上
b：最高値未満～上中間値（最高値と平均値の間）以上
c：上中間未満～平均値以上
d：平均値未満～下中間値（平均値と最低値の間）以上
e：下中間値未満

6 基準説明

利用者数は毎年変動するものであり、一定安定的な数字と比較するため、過去5年間の数値を基に、最高値以上をa、平均値以上をcとし、最低値も含めた按分で基準を設定した。
最高値：605,894（平成26年度）
平均値：595,213
最低値：566,423人（平成23年度）

7 評価結果

27	28	29
a	b	b

施策名	1602	活力ある長寿社会の実現				
-----	------	-------------	--	--	--	--

指標名	介護予防事業参加者数（人）					
-----	---------------	--	--	--	--	--

担当課	介護ケア推進課	連絡先	2 1 3 - 5 8 7 1		
-----	---------	-----	-----------------	--	--

1 指標の説明

要支援・要介護となるおそれの高い高齢者を対象とした介護予防事業（二次予防事業※生活機能の低下により、要支援・要介護になるおそれがあると認定された高齢者に対する介護予防事業）への参加者数
※指標名の介護予防事業参加者数とは、二次予防事業参加者数である。

2 指標の意味

介護予防の取組状況を表す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：全数調査
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	27年度	28年度		数値	根拠	達成度
数値	2,014	1,598	416人減	2,737	「第6期京都市民長寿すこやかプラン」に掲げる当該年度の参加者数見込値	58.4%

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値		2,737	28年度	58.4%	第6期京都市民長寿すこやかプラン	

5 評価基準

最新数値の目標値に対する達成度が
a:100%以上
b:80%以上～100%未満
c:60%以上～80%未満
d:40%以上～60%未満
e:40%未満

6 基準説明

第6期京都市民長寿すこやかプランにおける二次予防事業の参加者数見込値を目標値と設定し、参加者数実績を比較し、100%以上をa、以下20%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

27	28	29
a	c	d

1 指標の説明

市内にある高齢者の居場所づくり支援事業としての高齢者の居場所箇所数（平成29年度から健康長寿サロンに統合）

2 指標の意味

高齢者の孤立化防止や地域での見守り活動など、高齢者の地域での福祉向上を示す指標

3 算出方法・出典等

算出方法：全数調査
出典：事業担当課調べ

4 数値

	前回数値	最新数値	推移	目標値		
	27年度	28年度		数値	根拠	達成度
数値	257	260	3箇所増	290	平成32年度目標値を達成するために当該年度達成すべき数値	89.7%

	全国順位	中長期目標				備考
		数値	目標年次	達成度	根拠	
数値		400	32年度	65.0%	京プラン実施計画 第2ステージ	

5 評価基準

単年度目標に対する達成度が、
a：100%以上
b：80%以上100%未満
c：60%以上80%未満
d：40%以上60%未満
e：40%未満

6 基準説明

「京プラン実施計画 第2ステージ」に係る居場所の設置目標値と設置実績を比較し、100%以上をa、以下20%刻みで基準を設定した。

7 評価結果

27	28	29
a	b	b